

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 未婚男性への教育介入は精液所見と将来の出生力を改善するか
2. 研究代表者： 前田 恵理（北海道大学 大学院医学研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、男性を対象に、生活環境要因等、修正可能なリスク因子を測定し、近年悪化していることが知られている精液所見や出生力との関連を明らかにすることを目指す。さらに、将来の健康と家族形成を見据えた保健教育を実施し、男性への教育によって不妊や妊娠・分娩合併症の予防が可能か長期的に評価・検討することを目的とする。

フェーズ 1 では、多人数規模のコホートにより、実際に精液検査を実施の上、精液所見に関連する因子の解析、教材の作成とそれを用いた介入が実施できた点は評価できる。

フェーズ 2 では、計画されている長期的な研究、別地域での調査拡大は望ましいが、将来の出生力改善までのロードマップを示すこと。また、介入により影響を受ける因子についてエビデンスに基づき明確にすること、出生力そのものについて検討・考察することに期待する。

以上